

<合唱の楽しみ> 第二回「美しいハーモニーを作るには」

合唱の醍醐味の一つにハーモニーを体感する喜びがあります。これは合唱の神髄です。そのために、まず和音について知りましょう。

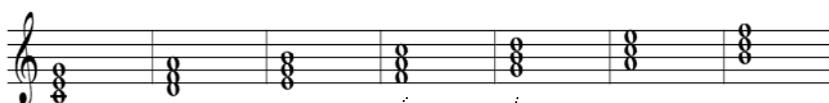
和音は基本、三つの音の重なりから生まれます。重なり方は、いろいろありますが、大きく分ければ

① 明るい長三和音 長 短 短 長 長 短 減

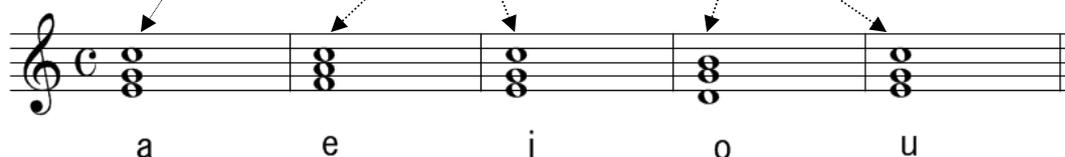
② 暗い短三和音

③ 幻想的な減三和音

④ 悲惨な不協和音



不協和音を歌うことは訓練が必要ですが、長三和音、短三和音、減三和音を歌うことは難しいものではありません。この三和音のうち、長三和音だけで繋いだハーモニー練習が一番シンプルな「カデンツ」です。これは、文章で言えば主語+動詞+目的語です。この塊がどんどんつながって音楽になります。私達が毎回歌っている「カデンツ」が一番シンプルな音楽です。



この「カデンツ」のeとuのところを他の三和音に入れ替えることによってより複雑な「カデンツ」になり、音楽は深みを増していきます。

さて、この「カデンツ」を美しく響かせるためには、どんなスキルが必要でしょうか？

- ① 正しい音程で声を出すこと、平均調律と純正調律の違いがわかると良い。
- ② 音色をそろえること、口の開け方で、音程、音色が変わる。
- ③ 声の大きさのバランス、バランスが悪いと響かない。
- ④ これらを行うために、自分の声、周りの声、響き全体の声を聞くこと
- ⑤ そのための聞く耳を育てること
- ⑥ 最後は協調性（音楽では言えば、調性を共有する）あるかないか、心の持ち方が美しさを左右する。

それでは、これらの一つ一つについてお話ししていきましょう。